

平和への思い、お寄せください。

恒久平和は人類の願い

昨年4月、オバマ大統領の核兵器のない世界平和に向けた演説があり、この演説はノーベル平和賞につながりました。また、今年5月には、ニューヨークで核不拡散条約再検討会議が開かれるなど、平和な世界を願う声は大きなうねりとなっています。恒久平和は人類共通の念願です。とりわけ私たちは、唯一の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の苦しみをかみしめ、再び忌まわしい惨禍を繰り返さない誓いを新たにすることがあります。

宣言までの進め方

市ではこのたび、庁内プロジェクトチームを設置し、宣言の名称、時期、方法、宣言文の内容などの検討を始めました。宣言の内容については、心から平和を感じられるように、また安曇野らしい内容になるように、市民の皆さまとともに検討を進めます。具体的には、市民の皆さまから平和への思いなどを募集し、それを参考にしながら宣言文案を作成します。その後、宣言文案に対するパブリックコメント（意見公募）を経て、議会に提出します。

募集内容

「平和への思いや安曇野に寄せる思い」を20字程度にまとめ、お送りください。ご意見は安曇野市平和都市宣言（仮称）文を作成するうえでの参考にさせていただきます。ご家族と一緒に考えてみませんか？

考えるためのヒント

- ▽あなたが平和だと感じる瞬間はどんな時でしょうか。
- ▽平和を守るために必要なことは何でしょうか。
- ▽平和な世界であるためにはどうしたらよいでしょうか。
- ▽平和な世界であるために私たちは何ができるのでしょうか。

例えばこんな思い…

- ▽美しい安曇野の自然を守り…
- ▽明るく、住みよい世界…
- ▽地球の環境を守り…

- ▽子供たちの笑顔…
- ▽若者たちの明るい未来…
- ▽地域の安全と平和な暮らし…
- 対象 市内在住者ならどなたでも結構です。小・中・高校生からの応募もお待ちしております。
- 応募締切 9月13日（月）
- 応募方法 作品に、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、郵送、FAX、Eメール、直接持参のいずれかで提出してください。
- 応募先

【郵送】〒399-8205
安曇野市豊科4932番地46
安曇野市役所総務部総務課
【Fax】71-51555
【Eメール】
sounu@city.azumino.nagano.jp
【直接持参】 本庁舎内総務課庶務係または総合支所内地域支援課窓口へ直接お持ちください。

●本庁舎内総務課庶務係
(TEL)71-2000 (FAX)71-5155)

注目情報 3 平和都市宣言に向けて



市政トピックス

市の宿泊施設等のあり方について答申

安曇野市宿泊施設等あり方検討専門委員会（座長・又坂常人信州大学教授）は7月21日、委員の意見を集約した答申書を市長に手渡しました。

この会議は本年1月の諮問を受け、有識者5人が、市所有の宿泊施設のあり方について検討を行ったものです。

市の所有する宿泊施設は、住民の保養の場、観光、農業振興のためなどに合併前の旧町村が設置したものです。しかし、老朽化が進む施設、設置目的を達成したといえる施設、民間と競合する施設などがあり、そのあり方は、市の行政改革大綱（第二次）においても一定の見直しが必要とされています。

提出された答申書では、公の施設としての機能や役割が果たされているか、維持管理にかかわる将来の費用負担や指定管理者制度による運営上の問題など、さまざまな視点から分析が行われています。

この答申書は、各総合支所地域支援課、本庁舎内行政改革推進室で閲覧できます。また、ホームページにも掲載しています。

答申書を手渡す又坂座長(写真右)



地下水にかかわる研究委員会が発足

市の地下水保全や適正利用のあり方を探る地下水保全対策研究委員会の初会合が7月26日、市民活動センター内「くるりん広場」で開かれました。

宮澤市長は各委員に委嘱状を手渡し、「すばらしい地域の資源をより良い形で将来に引き継ぐことができますよう、審議をお願いし

ます」とあいさつしました。

委員として委嘱されたのは、各地で条例作りにかかわってきた専門家をはじめ、市内の産業界関係者、行政職員ら26人。会長には、日本地下水学会会長で信州大学教授の藤縄克之さんが選ばれました。藤縄教授は、「科学的データに基づき全国にない最先端となる社会シ



国土交通省職員から犀川上流域の水環境について説明を受ける各委員(写真左下)

ステムを作りたい」と展望を話しました。研究委員会は今後2年間議論を交わし、市が平成24年度内の策定を目指す地下水保全条例の土台となる「保全対策指針」をまとめます。また、来年3月ごろには水をテーマにしたシンポジウムの開催が予定されています。